地域の「家守り棟梁」になりたい社長が届ける…

ジェントル通信

12月号

［発行者］
株式会社 Gentle Work (ジェントルワーク)
〒579-8056 東大阪市若草町7-9
TEL: 072-974-5010
［発行日］
2023年12月1日 Vol.31

こんにちは！
今日も現場で働く、現場大好き笠松です。

ちょっとした出来事で、デザインも内容も一新して、この通信を制作してみようと思いました。

その出来事は、またこの通信の中で書きたいと思いますが、僕の中で何かが変わったのは間違いのない事実です。

継続はない

この言葉を選んだのは、まさに今年一年、この意味を痛感する出来事があまりにも多く、意識しだしたのは11月…苦しい時間真っ最中です！

Merry Christmas

Xmasを楽しんでたのは何歳の頃までだったか？

サンタクロースが現実に存在しなくて、プレゼントは親が購入したものだと知ったのは何歳ですか？

僕はいずれも5歳の時だった。残念に感じたというよりは、どちらかと言えば「だよね」と感じた。

それでも自分が親となってみると、子どもにはいつまでもサンタクロースの存在を信じてほしいと思うものですね。

大人になった自分はこう思う。

クリスマスの日に、目に見える贈物が届けられるのは子供。

大人には、見えない「幸せ」という贈物が届けられる。

一年を振り返り、自分に届けられた「幸せ」を探す大切な時間なのかも知れない。

僕にもサンタクロースは、今年一年、いろんな「幸せ」を届けてくれました。

それは、新しい挑戦となる仕事を依頼してくれたお客さまだったり、乗り越えられない失敗をしないよう、準備運動のような試練を与えてくれた。

そんな風に考えるようになったら、大人のクリスマスの愉しみ方が生まれました。

今月の忘れられない失敗

1700万円の契約を逃したの巻

先月初めの出来事です。お商売や営業をされてる方なら、どれくらい大きな出来事だったかは想像できると思います。僕自身の中でも衝撃的な出来事だった。

このお客さまは、60代の独身女性で、ご両親が建築され、彼女が相続した築42年の戸建住宅。

ご相談内容は、2階建てなので今後を考え1階だけで生活できるようにしたい。ナメクジや床下の害虫発生も気になっており、暮らしやすい家にしたいというものでした。

明るくて素直で、僕にも常に気遣いをしてくださっていて、帰る際には毎回手土産までもたせてくれたりと、とても良い方だった。

が、しかし！

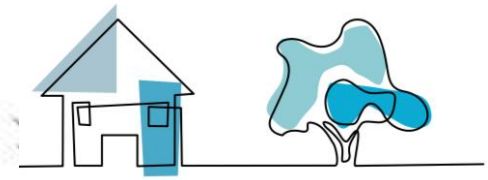
結果として僕は、そのお客様の素敵さに胡坐をかいてしまった。それが今回の契約を逃した結末。

お客さまはみんな、契約するまで迷っているのが普通です。そんな事は営業初心者でもわかっていることなのに、僕は、お客様の人柄に「信頼してもらっている」と勘違いをしていたのでした。

契約を逃した落胆よりも、反省と改善が必要だと、今年一年の失敗の数々を振り返り、なかなか実行できていかった「継続」を本気で行動させてくれたお客様になったのでした。

今回のお客様は、常に笑顔でおられたので、僕の提案やアドバイスを喜んでくれていると勘違いしていたし、もっと将来の暮らしのイメージについてもヒアリングすべきだった。考えると反省しかない。

来年の僕は今年の反省を全て改善実行する！



家は、その家族の暮らしを映す。
既に職業病だと自覚しながら、今日も誰かの住宅を見て想うこと

今月のお宅

何だかんだで今年で建築に携わって20年。いつの間にか、勝手に家が目に入るようになり、いろんなことを推察してしまうのがクセになってしまいました。

今月から、趣向を変えて地域で目に入った住宅を、職業病でもある大工から見て想うことをそのまま綴ってみたいと思います。もしかしたら、あたなの家のことを書いてるかもしれない。そんな風に読んでもらえたら嬉しいです。

今月の僕が記事に取り上げた一軒は．．．

2階建てで約28坪くらいで、40年前に流行った青色の瓦屋根に、汚れたブロック積みの塀に錆が出ている門扉。外壁は、これも当時流行った仕上げで、塗装をせずにモルタルのみで仕上られたものだったから、雨染みやヒビが入り汚れが付着している。その他の部分を見ても、きっと、この住宅は新築からメンテナンスされていないんだと思った。僕からすると不健康そうな家だった。

こういう家を見ると職業病の僕はツッコミを入れたくなる．．．

壁に亀裂が入ってるやん！

雨漏りしてるけど気付いてないかもな～ (教えてあげたい)

ベランダの屋根のポリカの波板が割れてるやん！

この3点セットやと、きっと家の中も住みづらいやろ～なぁ～

今すぐにでもピンポン押して、教えてあげたくなるけど、そんなことをしたら、営業か悪徳商法紛いの人間と間違えられることは僕にもわかっています。

その度、ここに住んでる人が**「僕に電話してきてくれないかなぁ～」**と淡い夢を見ています。

最近は、会社の案内をポストがあれば入れるようにしました。もし、あなたの家に僕の会社案内が入っていたら、僕が言いたい事があると思ってください（笑

営業はしないので安心してください！
家がどういう状態で、最低限どれくらいの費用をかければ改善するのかのみお伝えします。

それでも親切心で僕が何かをしてくれると思う人は少ないし、余計に警戒心を強める方がいることも知っていますので、ここで僕から…　アドバイスを２つ。

一、僕にお金を支払わないでください

一、僕の用意する紙に、絶対に印鑑を押さないでください

本誌、冒頭にも書きましたが、僕は地域の「家守り棟梁」になれたらと思ってるだけです。そして、もっと戸建て住宅にお住まいの人が家に愛情を注いであげてほしい。

なぜ「戸建て」なのか．．．それは、マンションは組合が完璧に建物管理をしているので、人任せでも大丈夫なんです。対して戸建ては自分で管理しないと、誰も何もしてくれないからです。